

墨田地区モビリティサポートモデル事業 の概要について

すみだ次世代モビリティ開発コンソーシアム

1、背景および目的

◆背景

- ・東京都墨田区は観光スポットが豊富。
- ・2012年春東京スカイツリー・すみだ北斎美術館が完成予定。
- ・観光客が年間2000万人へ増加する見込み※

※墨田区文化観光協会試算



抱えている課題

- ①観光情報がアナログ
- ②観光スポットの埋没
- ③公共移動手段の不足



◆目的

- ・国内外の観光客が墨田区をより楽しむ仕掛けの構築。
- ・観光情報・飲食店情報の提供。
- ・電気自動車との連携。

2、実施概要

テーマ：次世代モビリティとデジタルサイネージを融合した観光情報サポートシステムの構築事業

実施内容	
①観光情報の提供	
②周辺地図・周辺の観光スポット情報の提供	
③Photo Chat System (デジタル写真・メモ書き)の利用	
④電気自動車の利用	
⑤携帯端末の充電	

④⑤で利用する電気自動車



①②の観光情報・地図情報のサンプル

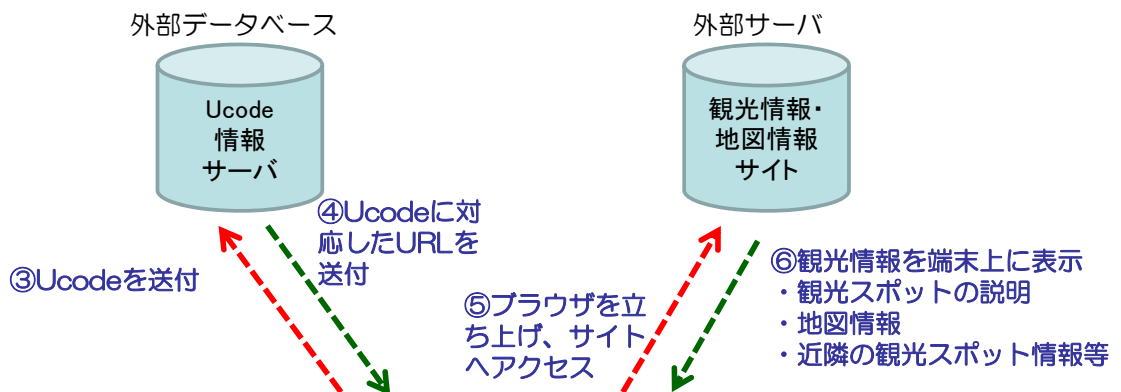


③Photo Chat Systemのサンプル

3、観光情報サポートシステムの概要

◆使用機器・インフラ

- ・携帯端末 (Photo Chat Systemを装備)
- ・ICタグ (位置特定インフラ)
- ・Ucode



- ② Ucodeを取得
- ① ICタグにリーダを近づける





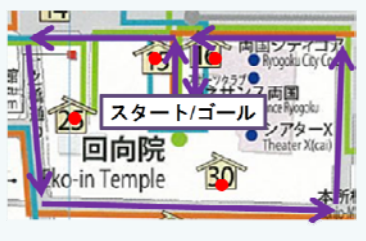
入力 (カメラ画像)

入力 (タブレット)

観光スポットに、Ucodeを書き込んだICタグを設置

携帯端末 (Photo Chat Systemを装備)

4、移動支援サービスの内容（1）

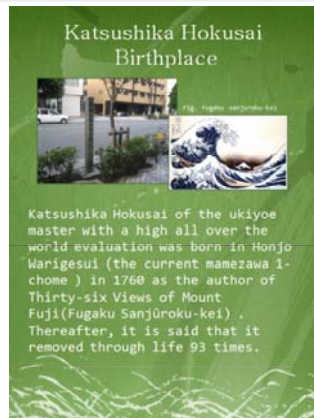
	移動支援サービス①	移動支援サービス②	移動支援サービス③
場所	JR両国駅周辺	向島地域	JR両国駅周辺
期間	10月24・25日	1月4・5・7日	1月25・26・29日
参加人数（名）	24	8	7
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 観光情報の取得 パッシブICタグ PCS※ 	<ul style="list-style-type: none"> 地図情報の取得 パッシブICタグ PCS※ 	<ul style="list-style-type: none"> 電気自動車との連携 アクティブICタグ PCS※
ICタグ設置状況	13観光スポット	6寺社	回向院周辺4カ所
設置地図			
設置場所	<ul style="list-style-type: none"> ● 百本杭跡 ● 御蔵橋跡 ● 駒止石（旧安田庭園） ● 家康銅像 ● 北斎誕生の地 ● 野見宿禰神社 ● 南刺下水 ● 津軽の太鼓・津軽蒲上屋敷跡 ● 江川太郎左衛門屋敷跡 ● 榊馬場跡 ● 芥川龍之介生育の地 ● 回向院 ● 猫の恩返し（猫塚） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 多門寺 ● 白髭神社 ● 向島百花園 ● 弘福寺 ● 三囲神社 ● 長命寺 	<p>←：電気自動車 走行コース</p> <p>●：ICタグ設置場所</p> <p>※PCS: Photo Chat System</p>

5、移動支援サービスの内容（2）

◆歩行時



パッシブ型ICタグに携帯端末をタッチ



携帯端末に観光情報を表示



携帯端末に周辺地図情報を表示



Photo Chat Systemで写真にメモ書き



アクティブ型ICタグ



携帯端末に目的地までの地図情報を表示

◆電気自動車で移動時

電気自動車で移動し、観光スポット周辺は徒歩で街歩きする。



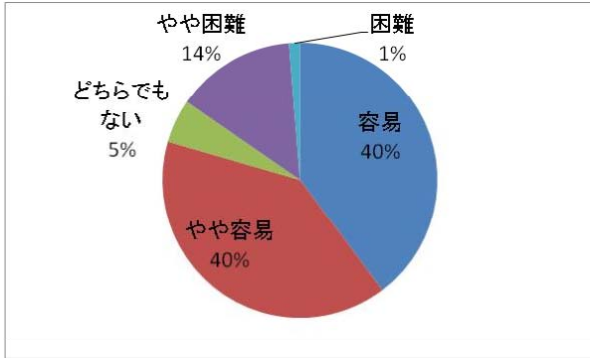
電気自動車を利用

6、成果と生じた課題（1）

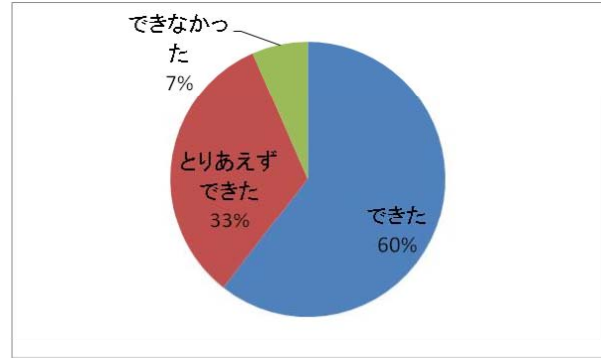
◆アンケート結果（46名回収）

※モニターに実証試験に参加してもらい、実証試験後に配布し、その場で記入してもらった。

1、Photo Chat System（カメラ・メモ書き）操作は容易に行えたか？
⇒8割に好評であった。



2、ICタグから観光情報を取得できたか？
⇒9割が取得した。

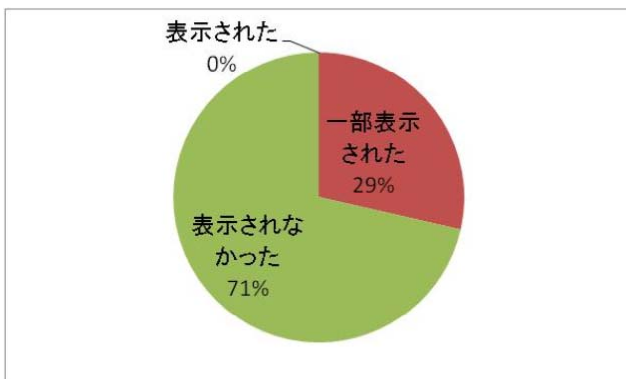


【生じた課題】

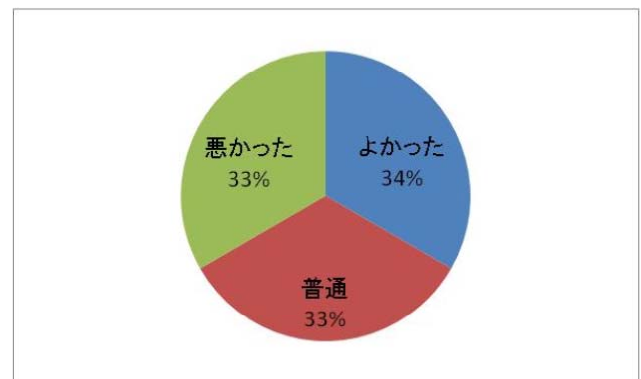
- ・携帯端末の携帯性・操作性に難（重い、文字が小さい、動作が遅い等）。
- ・観光スポットでICタグが見つげにくい。
- ・多様な情報の中からニーズの高いものを、属性・時間帯等に応じて提供。

6、成果と生じた課題（2）

3、マップは全て表示されたか？
⇒約30%は、4カ所あるICタグ設置個所のうち約2カ所で表示された。



4、地図情報の表示間隔はちょうどよかったか？
⇒約66%はよかった・普通と答えた。



【生じた課題】

- ・アクティブ型ICタグからの電波をリーダーがスムーズに受信できない。
- ・法規制上、ICタグを公道に設置することが困難。
- ・車内はアクティブ型ICタグ、街歩きはパッシブ型ICタグを利用することで、リーダーを装着する手間が生じる。

7、達成目標・評価指標と達成状況

対象	達成目標	評価指標	達成状況
I	<ul style="list-style-type: none"> 問題なく観光情報が取得できること Photo Chat Systemの有用性 	<ul style="list-style-type: none"> 技術的に実装できたか アンケートによるヒアリングで、ポジティブな評価を得られるか 	<ul style="list-style-type: none"> 9割が観光情報を取得 8割がPhoto Chat Systemを評価
II	<ul style="list-style-type: none"> 地図情報の有用性 アドホックコミュニケーションの有用性 		<ul style="list-style-type: none"> 9割が地図情報を評価 アドホックコミュニケーションへのポジティブなコメントが多数
III	<ul style="list-style-type: none"> 電気自動車の運転中に地図情報が取得できること 		<ul style="list-style-type: none"> 3割のみ地図情報を取得 表示タイミングは6割が評価

8、今後の事業の継続について

墨田地区
2010年度の
計画

- ・携帯端末、位置特定インフラの効果的利用の検討
- ・観光情報・地図情報の体系化および提供方法の検討
- ・電気自動車の開発・製造・走行テストの実施

電車⇄電気自動車
の乗り換え



駐車場に止めて
目的地にも楽々到着



気になった事や感じ
た事等、写真撮影・
メモ書き



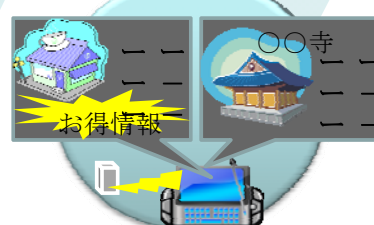
返却場所にて
アルバムを受け取り



ナビゲーション
を見ながら
目的地まで運転



観光情報や付近の店
お得情報を取得



友達や他の観光客と
通信して情報を共有



9、水平展開の可能性

項目	内容	例
①位置特定インフラ（ICタグ）を用いた情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・アクティブ型・パッシブ型の特性を考慮した観光・地図情報の提供 	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>パッシブ型ICタグ・リーダ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>アクティブ型ICタグ・リーダ</p> </div> </div>
②デジタルサイネージによる閲覧	<ul style="list-style-type: none"> ・多種多様な情報をデジタルで閲覧 ・写真・メモ書きをデジタルで記録 	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>iPad</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>iPhone</p> </div> </div>
③電気自動車との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内での面的観光・回遊性の向上 ・携帯端末の充電 	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>電気自動車（HOKUSAI）を、墨田区内で2012年までに、観光用途として最低10台走行させる。</p> </div> </div>